

令和5事業年度

決 算 報 告 書

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,549	5,542	△ 6	(注1)
補助金等収入	754	609	△ 144	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	9	9	—	
自己収入	609	707	97	
授業料、入学料及び検定料収入	472	512	40	(注3)
雑収入	137	194	56	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,132	2,387	255	(注5)
目的積立金取崩	592	18	△ 573	(注6)
引当特定資産取崩	—	2	2	(注7)
計	9,646	9,276	△ 369	
支出				
業務費	6,751	5,555	△ 1,195	
教育研究経費	6,751	5,555	△ 1,195	(注8)
施設整備費	9	9	—	
補助金等	754	609	△ 144	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,132	2,082	△ 50	
計	9,646	8,256	△ 1,390	
収入-支出	—	1,020	1,020	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階の金額よりも少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっております。

(注2) 補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が144百万円少額となっております。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料徴収者増加が要因となり、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっております。

(注4) 雑収入については、地域連携活動による収入の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が56百万円多額となっております。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究等の受入額の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が255百万円多額となっております。なお、決算金額については前期からの繰越金257百万円を含んでおります。

(注6) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた取崩事業の完成時期を繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が573百万円少額となっております。

(注7) 引当特定資産取崩については、予算段階で予定していなかった取崩事業が発生したこと等により、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっております。

(注8) 教育研究経費については、施設整備関連事業の完成時期を繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が1,195百万円少額となっております。

(注9) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が144百万円少額となっております。